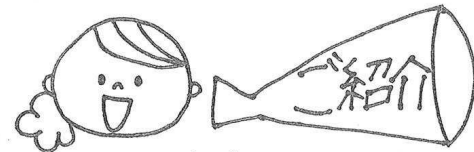


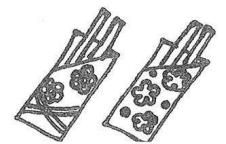


第31号
平成25年冬
一般社団法人
富山県作業療法士会
地域リハビリテーション部

障がいをお持ちの
地域で暮らす方々
施設利用者、
ご家族に向けて
リハビリテーションの
情報をわかりやすく
お伝えしていきます



作業活動 箸袋作り



私たち作業療法士は、作業活動(食事・更衣・仕事などの人間が生きていく上で行う全ての活動)を用いて、治療、指導、および援助を行っています。それらの作業活動を一緒に練習して、障害があっても楽しくできるように援助していくのが作業療法です。

作業活動として、今回は「手芸-箸袋作り」を紹介します。好きなデザインの生地を使うことで自分だけのマイ箸袋を作ることができます。子供たちにも大好きなキャラクター柄で作ってあげたら喜んでくれますよ。マイ箸袋を作って、楽しくマイ箸袋を持ち歩きましょう!!

〈材料〉柄布(30x30cm)1枚・無地布(30x30cm)1枚・ひも(長さ17cm)2本・ビーズ(ひもが通るくらいのもの)2個

〈道具〉はさみ、針、糸

※上記の材料で箸袋2つ作れます。

〈作り方〉

①柄布と無地布を対角線で切る。

②柄布と無地布を合わせ、合わせた布の間にひもをはさむ(1cm程)

③三角形の布の周りを縫う。

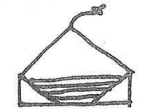
④無地布から見て左下を5cm程内側に折り、下側を縫う。

⑤ひもの先にビーズを付けてひもを結ぶ。

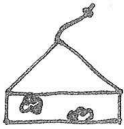


〈使い方〉

三角形の部分に箸を固定して、反対側の角を折る



ひもの方向へくるくると巻く。



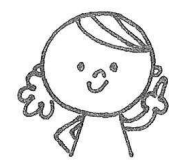
作品作りにおける工夫と期待できる効果

[裁縫が苦手でも簡単に作れる工夫]

- ①アイロンの熱でくっつくテープ
- ②布用のホント
- ③アイロンで貼り付けられ、抗菌加工された生地

[期待できる効果]

- ①布製のため、カバンに入れて持ち歩いてもカタカタ音が鳴らないし、かさばりません。
- ②自由に長さを調節できるので、どんな大きさの箸でもOK。また、スプーンやフォークも入れられます。
- ③洗濯できるので、清潔を保てます。
- ④皆で色や柄違いの生地で作れば、お弁当タイムの楽しみが増えます。
- ⑤自宅にある生地を使えば、材料費はほとんどかかりません。



是非、作ってみてください。